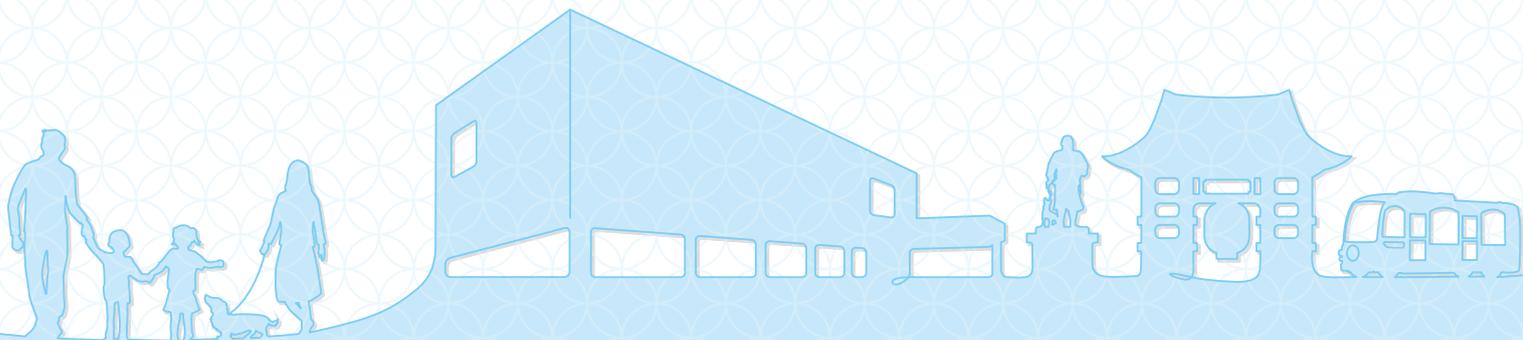




- 1 基本構想
- ↓
- 2 長期総合計画
- ↓
- 3 行政計画

台東区基本構想

世界に輝く
ひとまち
たいとう



2018年10月





「世界に輝く ひとまち たいとう」の実現を目指して — 台東区基本構想の策定について —

このたび、台東区の輝かしい未来の実現を図るために、新たな「台東区基本構想」を策定しました。

従前の基本構想は、平成16年10月に策定され、既に10年以上が経過しています。当時、16万8千人だった本区の人口は既に19万人を超えるなど、区を取り巻く様々な社会状況が変化する中、待機児童対策を始めとする子育て支援や、高齢者・障害者サービスへの更なる対応など、新たな課題が生じています。このような状況の中、台東区が活力ある都市として更なる発展を遂げていくために、区政運営の最高指針である新たな基本構想を策定しました。

策定にあたっては、学識経験者、区議会議員及び公募区民、地域団体の代表者で構成する「台東区基本構想策定審議会」を設置し、基本構想についてご提言いただくため諮問いたしました。

審議会では、区民ワークショップや区民アンケート、パブリックコメントなどにより、区民の皆様から頂戴した多くのご意見を踏まえ、幅広い角度から審議を重ねていただきました。審議会委員の皆様には、1年間という長期間にわたり、真摯かつ熱心なご審議をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

区では、審議会よりいただいた答申をもとに新たな基本構想案を作成し、平成30年10月に区議会の議決をいただきました。

新たな基本構想では、概ね20年後の区の目指す姿である将来像として「世界に輝くひとまち たいとう」を掲げています。「ひと」が輝き「まち」が輝き、そして「世界に輝く」という思いを込めたこの将来像は、まさに本区にふさわしいものであると確信しています。

今後、「ひと」の活力を大いに生かし「まち」の魅力を最大限発揮できるよう、新たな基本構想のもと、本区の輝かしい未来に向け、全力で区政に邁進してまいりますので、区民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成30年10月

台東区長 服部 征夫



目次

基本構想とは	1
第 1 章 将来像	2
第 2 章 基本目標	4
基本目標 1 あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現	4
基本目標 2 いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現	6
基本目標 3 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現	8
基本目標 4 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現	10
第 3 章 多様な主体と連携した区政運営の推進	12
参考資料	
諮問	17
答申	19
台東区基本構想策定審議会 委員名簿	22
庁内検討組織	23
台東区基本構想の策定経過	26





基本構想とは

基本構想とは、概ね20年後を展望して、台東区の将来像を描き、それを区民や地域で活動する団体などと一体となって実現するための、区政運営の最高指針となるものです。

基本構想は、概ね20年後を想定した区の目指す姿である「将来像」と将来像を実現するための目標である「基本目標」、区政運営の基盤となる考え方を示した「多様な主体と連携した区政運営の推進」で構成しています。

基本目標 ①

あらゆる世代が
生涯にわたって
成長し輝く
まちの実現

基本目標 ④

誰もが誇りや
憧れを抱く
安全安心で快適な
まちの実現

〈将来像〉

世界に輝くひとまち たいとう

基本目標 ②

いつまでも
健やかに自分らしく
暮らせる
まちの実現

基本目標 ③

活力にあふれ
多彩な魅力が輝く
まちの実現

多様な主体と連携した
区政運営の推進

※「多様な主体と連携した区政運営の推進」を基盤として、4つの基本目標が相互に連携しながら、将来像の実現を目指すことをイメージしています。



世界に輝く ひとまち たいとう

住む人、働く人、訪れる人、すべての人々は、安全安心で多様性が尊重された社会の中で、希望と活力にあふれ、いきいきと活躍しています。

長い間、積み重ねられてきた歴史や、まちに息づく多彩で粋な文化は、台東区を輝かせる光として、人々の誇りや憧れであり続けています。

台東区は、「ひと」も「まち」も輝くことで、世界中の人々を惹きつけ、ともに更なる活力と魅力を生み出す「世界に輝く ひとまち たいとう」の実現を目指します。



隅田川花火大会



©国立西洋美術館

国立西洋美術館

三社祭



基本目標 ①

あらゆる世代が生涯にわたって成長し 輝くまちの実現

子供は輝かしい未来への希望であり、子供達の健やかな成長は、人々の切なる願いです。台東区には、支え合いや助け合いという、古くから培ってきた地域の力があり、これまでも家庭や地域が一体となって子供の成長を支えてきました。台東区はこうした力を活かして、子供達が笑顔にあふれ、のびのびと育ち、地域全体でその成長を温かく見守るまちを実現します。

また、世界に飛躍し未来を創造する子供を育むため、まち全体を人が成長するための環境として捉え、豊かな文化や歴史、伝統などを活かした教育を推進しています。台東区は、こうしたかけがえのない財産を活かし、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、未来を担う子供達が、多様化・国際化する変化の激しい社会に対応し、創造性豊かに、たくましく生きる力を身に付けられる教育を推進します。

さらに、台東区には、数多くの文化施設や学術・教育機関などが集積し、人が生涯にわたって学ぶための環境が整っています。また、互いに学び、支え合い、高め合える地域社会を築くための土壌があります。台東区はこれらを最大限に活用して、学んだ成果を社会に活かし、生涯にわたって誰もが生きがいのある心豊かな生活を享受できるまちを実現します。

子供から高齢者まで、人は、いくつになっても、豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができます。台東区は、家庭や学校、地域と一体となって、区民が成長していくための多様な機会を創出していきます。そして「あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまち」を実現します。

認可保育所などの
整備



放課後子供教室

オリンピック・
パラリンピック
生涯学習講座



基本目標 ②

いつまでも健やかに
自分らしく暮らせるまちの実現

台東区は、地域組織力の強さを背景に、地域における自主的な健康づくりと支え合いを推進しています。健康であることは、いきいきとした豊かな生活を送る礎であり、人々の願いでもあります。台東区は、区民や地域と一体となって、生活の質の向上と健康寿命の延伸を目指し、誰もが安心して、健やかに過ごせるまちを実現します。

また、台東区には、困ったことがあれば皆で助け合う地域性が古くからあります。地域で互いに支え合い、つながりを大切にすることは、誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けていくために必要不可欠なことです。台東区は、地域と連携して、区民一人ひとりの尊厳を守るとともに、誰もが社会の大切な一員として生きがいを持って活躍し、自分らしい生活を営める環境を創出していきます。

医療や福祉などの社会保障は、生活の豊かさの基礎をなすものです。また、「健康で長生きをしたい」という思いは、すべての人々が持つ願いです。台東区は、医療や介護が必要となった場合でも、区民が安心して生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスを相互に連携させて、ニーズに応じた適切なサービスを提供していきます。そして、「いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまち」を実現します。

健康推進委員
による
ウォーキング



認知症カフェ

基本目標 3

活力にあふれ 多彩な魅力が輝くまちの実現

台東区は、名所や旧跡の数々を擁し、まちや日々の暮らしの中に、江戸の粋と人情、歴史と文化が息づいています。幾多の先人たちによって、今日まで築き上げられた、多彩で粋な文化は、区民の誇りであり、このまちを成長・発展させてきた力の源です。台東区は、文化の力を最大限に活かして、人々の心豊かな生活を実現し、まちの魅力と活力を向上させます。

また、古くから商工業の中心地の一つとして栄え発展してきた台東区に、今なお集積する多種多様な産業は、このまちの個性と魅力です。産業の振興は、まちに活力を生みだすとともに、区民生活の向上につながります。台東区は、企業の持続的な成長と、多種多様な産業の集積を一層向上させて区内産業の更なる振興を図ります。

さらに、豊富な地域資源、四季折々の行事などの多彩な魅力により、台東区には世界中から多くの人々が訪れています。観光は、地域の賑わいの創出や、地域経済の活性化に大きな役割を果たします。台東区は、世界に冠たる観光都市として、世界中の人々を惹きつけるとともに、区民との相互理解を促進させて、誰もが満足し、持続的に発展し続ける質の高い観光地を形成します。そして、観光の力を活かし、区民生活の更なる向上を図ります。

世界中から多様な人々が訪れる台東区では、長い歴史と伝統に裏打ちされた文化や産業が、新たな感性と出会うことで、新しい魅力が生まれ、まちの輝きが増しています。そして、その輝きがまちの繁栄を確固たるものとします。台東区は、文化と産業、そして観光の力を連動させて、その力を最大限に高め、輝かしい未来への創造につなげていくことで、「活力にあふれ多彩な魅力が輝くまち」を実現します。



旧東京音楽学校
奏楽堂



台東区産業フェア



浅草文化
観光センター

基本目標 4

誰もが誇りや憧れを抱く 安全安心で快適なまちの実現

台東区には、今なお歴史を感じる街並みや、緑・水辺といった自然など、数多くの地域資源が存在し、時代の流れとともに、それぞれの地域が独自の輝きをもって成長してきました。台東区は、こうした地域ごとの特色を活かして、個性豊かな街並みや、まちの活力を創出していきます。

また、台東区には、豊かな人情と温もり、支え合いを基調とする地域性が今日まで引き継がれ、災害や犯罪に強いまちを築くための土壌があります。台東区は、こうした強みを活かしながら、地震・水害をはじめとする災害や犯罪の危険から、区民や来街者の生命と財産を守り、まちの安全安心を確保していきます。

さらに、隅田川や上野の山といった自然は、人々に安らぎや癒しを与えます。こうした自然を未来に引き継ぐとともに、環境負荷の少ない社会を構築していくことは、現代に生きる私たちの使命であります。台東区は、地球環境に優しい社会への転換を一層進め、区内の自然を次世代へ継承し、誰もが住みよい、快適で潤いのある都市環境を創出していきます。

住む人、働く人、訪れる人にとって魅力のある持続可能なまちにするためには、長い歴史の中で育んできた地域の資源を活かして、個性豊かな街並みやまちの活力を創出するとともに、誰もが安全安心で快適に過ごすことができる環境を整えていくことが必要です。台東区は「住みたい」、「働きたい」、「訪れたい」と思えるまちづくりに取り組み、「誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまち」を実現します。

無電柱化の推進



総合防災訓練

花の心
プロジェクト



「世界に輝く ひとまち たいとう」の実現を図っていくためには、4つの基本目標を着実に達成していく必要があります。

そのためには、平和で、多様な人々が活躍できる地域社会を築き上げ、区民や地域で活動する団体、国内外の都市や地域など多様な主体と協働・連携していくほか、持続可能な行財政運営に取り組んでいくことが重要です。

そこで、区政運営の基盤となる考え方を以下のとおり定め、将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

平和と多様性の尊重

世界の恒久平和は人類共通の願いであり、平和は都市の繁栄と豊かさの礎となるものです。台東区は平和な社会を次の世代に確実に引き継いでいくために、恒久平和の実現に向けて取り組んでいきます。そして、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、すべての人々の人権が尊重され、いきいきと生活し、多様な人々が様々な場面で活躍できる地域社会を構築していきます。

パートナーシップの促進

支え合いを基調とする地域性を活かして、区民や町会のほか、NPOや企業など、多様な主体間の協働や、それらと行政とのパートナーシップを確立し、地域の活性化や課題解決に取り組んでいきます。

国内外の都市・地域との連携

国や東京都をはじめ、他の自治体とも連携しながら、災害対策などの様々な課題に取り組んでいきます。また、将来にわたり、台東区が活力ある地域社会を維持し、更なる発展を遂げていくために、国内外の都市や地域との連携・交流を深め、互いの魅力を高め合いながら、共存・共栄を図っていきます。

持続可能な行財政運営

将来を見通した総合的な計画に基づき、社会経済状況の変化や、行財政制度の変革を見据えながら、区政を展開していきます。また、柔軟な組織運営や先端技術の活用のほか、教育、福祉、産業、まちづくりといった各分野の取り組みの連携などにより、効果的・効率的で、持続可能な行財政運営を推進していきます。



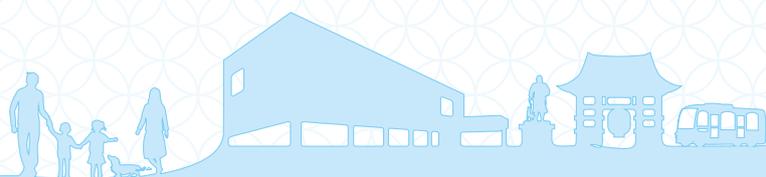
外国人のための
日本語教室

ふるさと交流ショップ
台東





參考資料





平成29年8月28日

東京都台東区基本構想策定審議会会長 殿

台東区長
服部 征夫

東京都台東区基本構想策定審議会条例第2条の規定に基づき、次の事項について、
諮問いたします。

「台東区基本構想及び、これを実現するための施策の方向性について」

〔理由〕

本区の基本構想は平成16年10月に策定され、既に10年以上が経過しています。
現行の基本構想策定時に16万8千人だった本区の人口は19万人を超え、今後も
増加が続くものと見込まれています。

また、少子高齢社会の進行や社会保障関連経費の増加、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、国立西洋美術館の世界文化遺産登録の決定等、本区を取り巻く環境は大きく変化しています。

さらに、厳しい経営環境にある中小企業への対策や首都直下地震への備え、待機児童数の増加など、区政の課題は山積しています。

このような状況のなか、多様化・複雑化する行政課題にきめ細かに対応し、本区が活力ある都市として、さらなる成長と発展を遂げていくためには、新たな方針のもと区政を展開していく必要があります。

本区の明るい未来を切り拓き、区民が愛着と誇りを持てる「躍進台東 新しい台東区」を築き上げるために、区政運営の最も基本となる基本構想及び、これを実現するために今後取り組んでいくべき施策の方向性につきまして、ご提言いただきたく諮問します。





平成30年8月31日

台東区長
服部征夫 殿

台東区基本構想策定審議会
会長 懸田 豊

台東区基本構想及び、これを実現するための
施策の方向性について(答申)

平成29年8月28日、貴職より諮問のありました、台東区基本構想及び、これを実現するための施策の方向性について、別添のとおり答申いたします。

現行の基本構想は平成16年10月に策定され、既に10年以上が経過しています。当時、16万8千人であった台東区の人口は既に19万人を超え、区を取り巻く様々な社会状況の変化とともに、待機児童対策を始めとする子育て支援や高齢者・障害者サービスへの更なる対応など、新たな課題が生じています。

このような状況のなか、台東区が活力ある都市としてさらなる成長と発展を遂げていくために、区政運営の最高指針である新たな基本構想を策定する必要が生じたことから、昨年8月に本審議会が設置されました。

審議会では、それぞれの委員の知見を活かして、福祉や産業、まちづくりなど多岐にわたる課題について、様々な角度から審議を行ってきたほか、より議論を深めるために、少人数のグループによる小委員会を設置し、検討を重ねてまいりました。

審議会や小委員会のなかでは、台東区の輝かしい未来に向け、「子育てしやすい環境の整備」や「区内産業の更なる振興」、「安全安心なまちづくり」など、区民生活の更なる向上を図るための方策について、熱心な議論が展開されました。

また、できる限り多くの区民の意見を参考とするために、「区民ワークショップ」や「区民アンケート」など、様々な取り組みも実施してまいりました。

そのなかでは、「障害者や外国人など多様な人に住みやすいまちであってほしい」



といった意見や、「住んでいる人、訪れる人が安全に暮らすことができるまちであってほしい」など、基本構想を策定するにあたり、大変貴重な意見を頂きました。

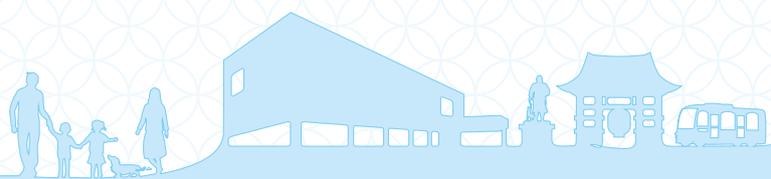
そして、本年4月には中間答申を行い、新たな基本構想案についてパブリックコメントを実施し、それらの意見を踏まえて更に審議を深め、本日答申として取りまとめております。

本答申における新たな基本構想は、概ね20年後を想定した区の目指す姿である「将来像」と、将来像を実現するための目標である「基本目標」、区政運営の基盤となる考え方を示した「多様な主体と連携した区政運営の推進」により成り立っており、将来像である「世界に輝く ひとまち たいとう」の実現を目指すこととしています。

また、「施策の方向性」については、審議会などでの議論のほか、国や都の動向、区の現状と課題を踏まえ、新たな基本構想を実現するために、必要な取り組みをまとめています。

区長におかれましては、審議会の委員と多くの区民の意見が集約された本答申をしっかりと受け止めていただき、「世界に輝く ひとまち たいとう」の実現に向けて、鋭意、区政に取り組んでいかれることを期待します。

結びにあたり、審議にご尽力いただきました審議会の委員の皆様、ならびに貴重なご意見をお寄せいただいた区民の皆様に、心より感謝申し上げます。



台東区基本構想策定審議会 委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	区分	小委員会
会長	懸田 豊	青山学院大学 名誉教授	産業・観光・文化・環境
副会長	吉川 徹	首都大学東京 副学長 大学院都市環境科学研究科建築学域教授	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	安島 博幸	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部教授	(委員長) 産業・観光・文化・環境
委員	片山 泰輔	静岡文化芸術大学 文化政策学部教授	産業・観光・文化・環境
委員	山谷 修作	東洋大学 経済学部総合政策学科教授	産業・観光・文化・環境
委員	有村 久春	東京聖栄大学 健康栄養学部管理栄養学科教授	(委員長)子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	宮崎 牧子	大正大学 人間学部社会福祉学科教授	(委員長) まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	西 智子	日本女子大学 家政学部児童学科特任教授	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	伊藤 正次	首都大学東京 大学院法学政治学研究科 法学部教授	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	太田 雅久	区議会議員	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	本目 さよ	区議会議員	産業・観光・文化・環境
委員	小坂 義久	区議会議員	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	早川 太郎	区議会議員	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	秋間 洋	区議会議員	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	石塚 麻梨子	公募区民	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	河野 雄太	公募区民	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	成田 多恵子	公募区民	産業・観光・文化・環境
委員	守屋 有晶	公募区民	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	山藤 弘子	公募区民	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	黒田 収	台東区町会連合会会長	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	小田切 満寿雄	東京商工会議所台東支部会長	産業・観光・文化・環境
委員	早津 司朗	台東区商店街連合会会長	産業・観光・文化・環境
委員	二木 忠男	上野観光連盟会長	産業・観光・文化・環境
委員	富士 滋美	浅草観光連盟会長	産業・観光・文化・環境
委員	安倍 智	下谷医師会監事	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	佐々木 聡	浅草医師会会長	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	牧田 としみ	台東区民生委員・ 児童委員協議会浅草橋地区会長	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	野坂 羊子	台東区障害福祉団体連絡協議会理事	まちづくり・防災防犯・健康・福祉
委員	峯岸 由美子	台東区社会教育委員	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ
委員	石原 喬子	台東区立小学校PTA連合会 (石浜小学校PTA会長)	子育て・教育・生涯学習・ パートナーシップ

庁内検討組織

●台東区基本構想等策定庁内検討会

役 職	氏 名	備 考
副区長(会長)	荒 川 聡一郎	
教育長(副会長)	矢 下 薫	
技 監	西 野 仁	平成30年4月 1日から
企画財政部長	佐 藤 徳 久	
用地・施設活用担当部長	望 月 昇	平成30年3月31日まで
	箱 崎 正 夫	平成30年4月 1日から
総務部長	石 野 壽 一	平成30年3月31日まで
	高 柳 正 治	平成30年4月 1日から
危機管理室長	嶋 田 邦 彦	平成30年3月31日まで
	松 本 浩 一	平成30年4月 1日から
国際・都市交流推進室長	中 沢 陽 一	平成30年3月31日まで
	高 柳 正 治	平成30年4月 1日から
区民部長	齊 藤 充	平成30年3月31日まで
	望 月 昇	平成30年4月 1日から
文化産業観光部長	河 井 卓 治	
産業振興担当部長	梶 靖 彦	平成30年4月 1日から
福祉部長	吹 澤 孝 行	
健康部長	清 古 愛 弓	平成30年3月31日まで
	齋 藤 美 奈 子	平成30年4月 1日から
台東保健所長	小 竹 桃 子	平成30年4月 1日から
環境清掃部長	飯 島 守 人	
都市づくり部長	伴 宣 久	
土木担当部長	高 柳 正 治	平成30年3月31日まで
	岡 田 和 平	平成30年4月 1日から
会計管理室長	西 島 久 雄	平成30年3月31日まで
	嶋 田 邦 彦	平成30年4月 1日から
教育委員会事務局次長	田 中 充	



庁内検討組織

●台東区基本構想等策定庁内検討会幹事会

役 職	氏 名	備 考
企画財政部長(幹事長)	佐藤 徳久	
総務部長(副幹事長)	石野 壽一	平成30年3月31日まで
	高柳 正治	平成30年4月 1日から
企画課長	前田 幹生	
経営改革担当課長	福田 健一	平成30年4月 1日から
財政課長	酒井 まり	
用地・施設活用担当課長	原島 悟	
総務課長(総務部参事事務取扱)	野村 武治	
人事課長	箱崎 正夫	平成30年3月31日まで
	内田 円	平成30年4月 1日から
広報課長	柳川 清一	平成30年3月31日まで
	横倉 亨	平成30年4月 1日から
経理課長	雨宮 真一郎	
危機・災害対策課長	川島 俊二	
都市交流課長	段塚 克志	平成30年3月31日まで
	廣部 正明	平成30年4月 1日から
区民課長	飯田 俊行	
文化振興課長	内田 円	平成30年3月31日まで
	三瓶 共洋	平成30年4月 1日から
産業振興課長	上野 守代	平成30年4月 1日から
福祉課長	柿沼 浩一	
健康課長	小澤 隆	平成30年3月31日まで
	松原 秀樹	平成30年4月 1日から
生活衛生課長	齋藤 美奈子	平成30年3月31日まで
	山本 光洋	平成30年4月 1日から
環境課長	松原 秀樹	平成30年3月31日まで
	小川 信彦	平成30年4月 1日から
都市計画課長(都市づくり部参事事務取扱)	原嶋 伸夫	
交通対策課長	石川 洋二	

庁内検討組織

役 職	氏 名	備 考
会計課長	渡 邊 俊 二	平成30年3月31日まで
会計課長(会計管理室長事務取扱)	嶋 田 邦 彦	平成30年4月 1日から
庶務課長(教育委員会事務局参事事務取扱)	岡 田 和 平	平成30年3月31日まで
庶務課長	小 澤 隆	平成30年4月 1日から
生涯学習課長	小 川 信 彦	平成30年3月31日まで
	吉 本 由 紀	平成30年4月 1日から

●若手職員懇談会

所 属	氏 名	所 属	氏 名
財政課	雨 宮 範 彰	保護課	大 石 裕 仁
総務課兼 選挙管理委員会事務局	荻 田 弓 華 子	国民健康保険課	山 本 奈 奈
経理課	鈴 木 陽	生活衛生課	深 野 瑞 恵
施設課	赤 坂 恭 平	保健サービス課	角 園 真 枝
危機・災害対策課	中 太 博 規	環境課	渡 邊 哲 也
都市交流課	藤 田 千 穂	まちづくり推進課	前 島 功
税務課	高 田 敦 夫	道路管理課	小 室 光 未
戸籍住民サービス課	田 中 純 平	土木課	高 橋 宏
子育て・若者支援課	川 寄 邦 彦	会計課	岩 寄 雅 俊
観光課	加 藤 卓 也	庶務課	多 田 拓 司
産業振興課	佐久間 真名美	児童保育課	佐 野 麻 衣
福祉課	山 崎 実 香	中央図書館	齊 藤 恵 子
介護保険課	大 貫 亮 平		



台東区基本構想の策定経過

● 審議会

第1回 平成29年8月28日

- 会議の運営について
- 基本構想等の策定方針について

第2回 平成29年10月20日

- 基本構想の検証結果について
- 将来人口推計について
- 基本構想検討シートについて(産業・文化・健康・福祉)
- 小委員会の構成について

第3回 平成29年11月1日

- 基本構想検討シートについて(まちづくり・防災防犯・環境・子育て)

第4回 平成29年11月21日

- 基本構想検討シートについて
(観光・生涯学習・教育・パートナーシップ・行政経営)

第5回 平成29年11月27日

- 区民ワークショップの開催結果について
- 若手職員懇談会の開催結果について
- 区民アンケートの実施結果について
- 中学生と区長との語る会の開催結果について
- 新たな基本構想の考え方について

第6回 平成30年2月28日

- 分野別の20年後の望ましい姿について
- 新たな基本構想の体系案について
- 将来像の検討について

第7回 平成30年3月23日

- 区の計画について
- 台東区基本構想中間のまとめ案及び施策の方向性案について

第8回 平成30年4月12日

- 台東区基本構想中間答申案について

第9回 平成30年4月26日

- 台東区基本構想中間答申案について
- パブリックコメントについて

第10回 平成30年7月19日

- 台東区基本構想策定審議会答申案について

第11回 平成30年8月9日

- 台東区基本構想策定審議会答申案について

第12回 平成30年8月31日

- 台東区基本構想策定審議会答申案について



台東区基本構想の策定経過

●小委員会

<第1グループ（子育て・教育・生涯学習・パートナーシップ）>

第1回 平成29年12月1日

- 小委員会の進め方について
- 基本構想検討シートについて

第2回 平成29年12月15日

- 各分野の20年後の望ましい姿について

第3回 平成30年1月11日

- 各分野の20年後の望ましい姿について

<第2グループ（まちづくり・防災防犯・健康・福祉）>

第1回 平成29年12月11日

- 小委員会の進め方について
- 基本構想検討シートについて

第2回 平成29年12月27日

- 各分野の20年後の望ましい姿について

第3回 平成30年1月31日

- 各分野の20年後の望ましい姿について

<第3グループ（産業・観光・文化・環境）>

第1回 平成29年12月25日

- 小委員会の進め方について
- 基本構想検討シートについて

第2回 平成30年1月15日

- 各分野の20年後の望ましい姿について

第3回 平成30年1月29日

- 各分野の20年後の望ましい姿について



台東区基本構想の策定経過

●台東区基本構想等策定庁内検討会・幹事会・若手職員懇談会

第1回 平成29年4月28日 <幹事会>

平成29年5月16日 <検討会>

- 台東区基本構想等策定庁内検討会設置要綱(案)について
- 基本構想等の策定方針について
- 施策の現況調査について
- 基本構想の検証について

第2回 平成29年7月20日 <幹事会>

平成29年7月28日 <検討会>

- 台東区基本構想策定審議会の委員について
- 基本構想等の策定方針について
- 諮問(案)について

第3回 平成29年8月21日 <幹事会>

平成29年8月31日 <検討会>

- 基本構想の検証結果について
- 将来人口推計について
- 区民ワークショップの実施概要について
- 若手職員懇談会の実施概要について
- 基本構想検討シートについて

第1回 平成29年8月23日 <若手職員懇談会>

- 20年後の台東区の将来像について

第2回 平成29年9月6日 <若手職員懇談会>

- 分野別の課題と施策の方向性について

第4回 平成29年9月7日 <幹事会>**平成29年9月19日 <検討会>**

- 基本構想検討シートについて

第3回 平成29年9月27日 <若手職員懇談会>

- 分野別の課題と施策の方向性について

第5回 平成29年10月23日 <幹事会>**平成29年10月31日 <検討会>**

- 基本構想検討シートについて

第6回 平成29年11月6日 <幹事会>**平成29年11月20日 <検討会>**

- 区民ワークショップの開催結果について
- 若手職員懇談会の開催結果について
- 区民アンケートの実施結果について
- 中学生と区長との語る会の開催結果について
- 新たな基本構想の考え方について

第7回 平成30年2月13日 <幹事会>**平成30年2月19日 <検討会>**

- 分野別の20年後の望ましい姿について
- 新たな基本構想の体系(案)について
- 基本目標及び施策の方向性(案)について



台東区基本構想の策定経過

第8回 平成30年3月13日 <幹事会>

平成30年3月19日 <検討会>

- 台東区基本構想 中間のまとめ(案)及び施策の方向性(案)について
- 基本構想等のスケジュールについて

第9回 平成30年4月3日 <幹事会>

平成30年4月5日 <検討会>

- 台東区基本構想等策定庁内検討会設置要綱の改正について
- 基本構想策定までの流れについて
- 台東区基本構想中間の答申(案)について
- 新たな長期総合計画・行政計画の策定方針(案)について

第10回 平成30年6月18日 <幹事会>

平成30年6月25日 <検討会>

- 新たな長期総合計画の施策体系案について

第11回 平成30年7月5日 <幹事会>

平成30年7月12日 <検討会>

- 基本構想策定審議会答申案について

第12回 平成30年8月2日 ※合同開催 <幹事会><検討会>

- 基本構想策定審議会答申案について

台東区基本構想

平成31年2月発行
(平成30年度登録第74号)

台東区企画財政部企画課

〒110-8615 台東区東上野4-5-6

電話 03(5246)1012

FAX 03(5246)1019

メールアドレス kikaku.u6a@city.taito.tokyo.jp



台東区基本構想

世界に輝く
ひと まち
たいとう